

# 2022年度前期実施プログラム一覧(STARTプログラムプログラム)

※2022年6月現在の予定です。プログラム内容は予告なく変更する可能性があります。

プログラム名/ 研修先大学・機関	渡航期間/定員/ 参加費(*注)	主な研修内容(予定)	引率	宿泊場所	研修先大学・機関の紹介	研修先地域・都市の紹介
第71回STARTプログラム タイ北部国境で考えるSDGs (国際開発・地域開発・教育開発)ーメーファールアン大学短期留学プログラムー メーファールアン大学(ソーシャルイノベーション学部)	9月19日(月・祝) ～9月29日(木) (10泊11日) 定員:10人 (1～3年生対象) 参加費:約14万円	【目的】タイ最北端の国境県チェンラーイで、国際開発、地域開発、教育開発に関する講義・視察・振り返りを通して、SDGsを考えるとともに、現地の学生との交流を通して他者の共感を得る「国際協力マインド」を鍛える ◆メーファールアン大学での講義・演習・学生交流 ・国際開発、地域開発、教育開発に関する講義 ・講義を踏まえた現地視察(王室プロジェクト(ドイ・トゥン)、ゴールデン・トライアングル、ミャンマー国境(メーサイ)、ワット・ロンクン(仏教寺院)など) ・同大学の学生とともに、講義・視察の振り返り ◆英語による最終グループ・プレゼンテーション ほか		メーファールアン大学内の宿泊施設を予定(1人1部屋)	【メーファールアン大学】 <a href="https://en.mfu.ac.th/home.html">https://en.mfu.ac.th/home.html</a> タイ北部のチェンラーイ県にあるメーファールアン大学(MFU)は、タイ王立政府の支援を受けて、1998年に設立された自治公立大学です。メーファールアン大学はタイでは国際大学としても知られています。2021年にTimes Higher Educationによってタイで第1位にランクされました。この大学では、ほとんどのコースで英語を主教材として使用しており、幅広い分野で英語を母国語とする講師が多く在籍しています。メーファールアン大学のキャンパスは、800ヘクタール以上の広大な敷地に最新鋭の建物が建ち並んでいます。キャンパスは、山々と木々に囲まれた壮大な環境の中にあり、清潔で心地よい環境の中で教育や学習を行うのに適した環境です。広島大学とは2016年から部局間協定を結んでいます。	【チェンラーイ県】 ミャンマー、ラオスと国境を接するタイ最北の地・チェンラーイは、かつてタイ北部を統治したランナー王朝最初の都があった場所です。隣接するチェンマイなどと共に、現在も「ランナー文化」と称されるタイ北部独自の文化・伝統が色濃く残り、メコン川のほとりにあるチェンセーンには、ランナー王朝時代の遺跡群が、チェンラーイ市内には美しい寺院や文化施設が数多くある。一方、自然豊かな山岳地帯には、さまざまな山岳少数民族や旧中国国民党軍の子孫などが暮らし、王室の別荘地があることでも知られています。
第72回STARTプログラム インドネシアにおける農学と食料生産の現状及び環境政策について学ぶ ボゴール農科大学	9月22日(木) ～10月2日(日) (10泊11日) 定員:10人 (1～3年生対象) 参加費:約17万円	◆インドネシアの海洋と漁業の生物多様性について ◆インドネシアの気候変動が生物多様性に与える影響について ◆次世代のための生物多様性保全 ◆海から山への生物多様性 ◆インドネシアにおける社会文化 ◆インドネシアにおける政治経済 ◆農業エコツーリズム ◆生物多様性における気候、エネルギー、環境リテラシー ほか		後日決定	【ボゴール農科大学】 ボゴール農科大学は、Dramagaに本部を置くインドネシアの国立大学です。1963年に設置されました。農学部以外に獣医学、水産海洋科学など9つの学部で構成されています。ボゴール農科大学と広島大学とは2019年から大学間協定を結んでいます。 【SEAMEO BIOTROP】 <a href="https://www.biotrop.org/">https://www.biotrop.org/</a> SEAMEO熱帯生物学地域センター(BIOTROP)は、熱帯生物学のトレーニング、研究、大学院研究のための地域センターという名称で設立されました。SEAMEO BIOTROPでは、水耕栽培や水耕栽培の技術を使った都市農業の実践、組織培養研究所での組織培養技術を用いた植物栽培、天然物研究所での天然物の管理(エッセンシャルオイルや天然香水)等を行っています。	【ボゴール市】 インドネシア西ジャワ州の都市。ジャボデタベック都市圏の一部を形成し、周辺をボゴール県に囲まれています。ボゴールには、大統領官邸、ボゴール植物園、ボゴール農科大学、国際林業研究センターなどがあります。ボゴールは「雨の町」(Kota Hujan)ともよばれ、乾季の間でも雨が多い。人口は約103.1万人(2014年)。
第73回STARTプログラム(大学の世界展開アジア) インドネシアで学ぶ多様性 インドネシア教育大学	9月18日(日) ～9月28日(水) (10泊11日) 定員:10人 (1～3年生対象) 参加費:約7万円	◆インドネシア語初級講座 ◆インドネシアに住む多様な人々について(英語での講義) ◆インドネシアの生活について(英語での講義) ◆インドネシアの宗教について<多様性・ハラール・コーランなど>(英語での講義) ◆インドネシア教育大学の学生との交流(日本とインドネシアの違いについて英語で討論) ◆インドネシア教育大学近郊の小学校や中学校の訪問 ◆モスク訪問、礼拝の方法について ◆バリ島での見学(ヒンズー教の寺院訪問など) ほか		後日決定	【インドネシア教育大学】 <a href="https://www.upi.edu/">https://www.upi.edu/</a> 1954年設立のインドネシア教育大学(インドネシア語:Universitas Pendidikan Indonesia, UPI)は、ジャワ島バンドン市に位置する国立総合大学です。教育学部のほか社会科学部、経済ビジネス学部など8学部を設置しています。れ、ジャワ島のバンドンにあります。 バンドンにあるメインキャンパスをはじめ、Cibiru, Tasikmalaya, Sumedang, Purwakarta, Serangにもキャンパスがあります。約34,000人の学生が学んでいます。広島大学とは2012年から協定を結んでいます。	【バンドン市】 首都ジャカルタから東南に約200キロメートル離れた都市で、西ジャワ州の州都。インドネシアでジャワ人に次いで人口の多い種族であるスダ人が生活し、スダ語が話される「スダ地方」の中心地です。中心地の標高は海拔700メートルで、四方を標高2,000メートルクラスの山々に囲まれています。植民地時代に政治・経済・文化の中心地の1つとして発展し、また快適に過ごせる住環境でもあったことから「ジャワのパリ」(Paris van Java)」と呼ばれ、多くの外国人(オランダ人・中国人・日本人など)が居住していました。人口約250万人。

(\*注)参加費には国内交通費を含みません。参加費のほかに、自己負担費用として、海外旅行保険料(大学指定のものに加入必須)、パスポート申請費、予防接種代、査証手配代、帰国前72時間以内のCOVID-19陰性検査代、現地交通費、お小遣い(食費含む)などがかかります。